

平成30年度

事業報告書

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会

1 事業の成果

復興支援事業として福島県伊達市霊山町におけるバイオマス利活用活動は継続しており、1000Lのメタン発酵装置、吸収型ガスホルダの試作、並びに他地域へのメタン発酵装置設置の技術指導、助言をおこなった。霊山プロジェクト地元特産品加工設備が完成し、季節の地元食材を生かしたジャム生産が開始され希望者に販売できるまでになった。

インドネシアで展開しているコーヒー農園プロジェクトでは、再生可能エネルギーである小水力発電設備でコーヒー豆加工工場を稼働し、加工された製品の販売ルートを確立、収益で新たな農園拡張というプロジェクト目標が達成された。

新たなプロジェクトとして、「顔の見える地産地消の食とエネルギーづくり」と題し 2018 年度三井物産環境基金助成案件として申請を行い採択された。本プロジェクトは、「農のあるまちづくり」を主要政策としている埼玉県宮代町や若手農業者（農業、養鶏業）の協力の下で令和元年から3年間活動を展開する。

再生可能エネルギーについての普及啓発事業は、通例講演会、情報交換会、セミナー等での講演を行い、また定期的な執筆で当協会活動の紹介及びバイオマス利活用活動の紹介を精力的におこなった。

これらの活動は当協会ホームページにおいて逐次情報発信すると共に、会員向けに Skype を利用したインターネットでのリアルタイム情報発信、共有化を試みた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 80 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
霊山プロジェクト 定款 第5条 (2)	■1000lit 容量の有機性廃棄物のメタン発酵装置と吸着型ガスホルダの視察と、佐藤茂夫理事による技術説明地域を活性化するメタン発酵システム【メタン発酵技術のメッカをめざす霊山モデル】プロジェクト構想の紹介	平成 30 年 5 月 11 日～	福島県伊 達市霊山 町下小国	20 人	当協会会 員及び地 元プロジ ェクト構 成員	20 人	30
	■「霊山プロジェクト」地元代表の大沼宅に建設中の地元特産品製造所と、農場、1000Lメタン発酵設備の視察、えこえね南相馬研究機構が南相馬の NPO 法人「あさがお」内に設置された 500Lメタン発酵設備の見学及び情報交換。	平成 30 年 5 月 12 日	福島県伊 達市霊山 町下小国 及び南相 馬市	20 人	当協会会 員及び機 構構成員	40 人	20

	<p>■福島県伊達市霊山プロジェクト地元特産品加工設備が完成し製造が開始。なつはぜジャム、甘辛麹ピーマン味噌、イチジク甘露煮、あんぼ柿等地元の風味を満載したお試しセット”ほまじのわ”を購入希望者に販売を開始。</p> <p>■6月に東伊豆町稲取の清光院境内で開催された「復興支援マルシェ」に当協会「霊山プロジェクト」地元代表の大沼夫妻が参加。その返礼として河津桜苗木100本寄贈され、その植樹祭を実施。</p>	平成 31 年 2月	福島県伊 達市霊山 町下小国	10人	当協会会 員及び賛 同者	40人	—
	<p>■2017年10月で当該プロジェクトは終了したが、その後約半年経過した時点で、状況の確認、課題のフォロー、今後の展開方法について協議の為尾園代表理事、保坂理事他が、SERIWEサイトを訪問し、Mataram大学、DPU等関係者と協議した。 ロンボク島は、7月末、地震が連続して発生し、多くの被害が発生。当協会では有志による救援募金を募り、集まった義援金はMataram大学に送りテント等の購入に充てられた。</p>	平成 30 年 7月 1 日～平成 30 年 7月 7 日	インドネ シア ロ ンボク島	5人	地元コッ トニー構 成員	30人	—
インドネシア ロンボク島セ リウエ (SERIWE) プロジェクト 定款 第5条 (5)	<p>■当該プロジェクトの現地視察実施。 コーヒー加工工場は順調に生産がされており、コーヒー豆の収穫期での生産量は48t、新たに拡張した農園にコーヒー苗木を植えたことにより、計画されている200t/年の生産量も視野に入ってきた。生産過程で発生するバイオマス残渣の一部は、コーヒー豆の焙煎燃料として使われており、また一部は発酵させたい肥化し近隣の畑の肥料として使われるように工夫されている。再生可能エネルギーである小水力発電設備でコーヒー豆加工工場を稼働し、加工された製品の販売ルートを確認、収益で新たな農園拡張というプロジェクトは達成された。</p>	平成 30 年 7月 1 日～平成 30 年 7月 7 日	インドネ シア 西 ジャワ州	5人	地元コッ トニー構 成員	30人	—

<p>新たなプロジェクトと助成金の獲得</p>	<p>■「顔の見える地産地消の食とエネルギーづくり」と題し2018年度三井物産環境基金助成案件として申請を行い採択された。 本プロジェクトは、「農のあるまちづくり」を主要政策としている埼玉県宮代町や若手農業者（農業、養鶏業）の協力の下で3年間活動を展開する。</p>	<p>平成 30年 10月 15日</p>	<p>—</p>	<p>8人</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>普及啓発・セミナー 定款 第5条 (1)</p>	<p>■総会に合わせた講演会の実施 講演1 本阿弥 眞治様 東京理科大学名誉教授 「持続的社會における熱機関の将来」 講演2 山田 宏之 様 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 新エネルギー部 太陽光発電グループ 主任研究員 「太陽光発電システムの技術動向」 講演3 吉野 正人 様 株式会社東芝 研究開発本部 電力・社会システム技術開発センター 次世代エネルギー技術開発推進室 「水素社會の実現に向けた取り組み —水素製造と利用—」</p> <p>■REPA 情報交換会 定期的な情報交換会を開催。 第1回 講師：当協会理事 冨成研一 氏 「東京都総量削減義務と排出量取引制度について」 第2回 講師：東芝インフラシステムズ (株) 水環境プロセス技術部 木内氏、吉川氏 「バイオガス中からの二酸化炭素分離回収・利用技術 (CCU) のご紹介」 講師：当協会理事 堀内道夫 氏 「小水力発電議員連盟の動き」 第3回 講師：季刊誌「環境施設」編集長 山根和範氏 「環境施設編集者からみた最近の廃棄物処理・エネルギー再利用の傾向」</p>	<p>平成 30年 6月 2日</p> <p>平成 30年 7月 19日 9月 13日 1月 29日</p>	<p>千代田区一番町区民集会室</p> <p>千代田図書館第一研修室</p>	<p>20人</p> <p>10人</p>	<p>当協会会員及び講演会参加者</p> <p>当協会会員</p>	<p>50人</p> <p>30人</p>	<p>30</p> <p>—</p>

<p>普及啓発依頼 講演・執筆 定款 第5条 (1)</p>	<p>■季刊誌「環境施設」でのREPA活動の紹介</p> <p>2018年12月号から4回シリーズ(一年間)で、REPAの活動を「再生可能エネルギーの地域貢献への挑戦」と題して紹介。</p> <p>第一回(環境施設154号、12月発刊)スタートに当たりを尾園代表理事が、そのあと堀内道夫理事が、再生可能エネルギーの出番(欠点の克服)、水力発電の将来(特に小水力発電への様々な提言)。</p> <p>第二回(環境施設155号、3月発刊)尾園代表理事が小水力、太陽光・風力の活用による農漁村の活性化活動として、地元産品・雇用・生きがいの創出が進められた、インドネシアの海薬加工工場、コーヒー農園の2つのプロジェクトを紹介。</p> <p>また、11月に開催された(公社)腐食防食学会主催の「福島ワークショップ2018」「福島の復興再生状況の検証と今後の展望」に、市橋理事、霊山プロジェクトのメンバーが参加し、同号でその内容が紹介された。</p>	<p>平成 30 年 12 月 /3 月</p>	<p>—</p>	<p>8 人</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
	<p>■季刊誌農文協(農山漁村文化協会)『季刊地域』でのバイオガスの紹介</p> <p>『季刊地域』36号特集: “小さいエネルギーで地域強靱化” 「小さいバイオガスシステムで生ゴミからエネルギー」(原発事故被災地からの挑戦) 大沼豊正会員</p> <p>『季刊地域』37号特集: “ごみ処理は地方が一歩先を” 「小さいバイオガスシステムのつくり方」(ガスも液肥も手づくり) 佐藤茂夫理事</p>	<p>平成 31 年 1 月 / 5 月</p>	<p>—</p>	<p>5 人</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
	<p>■脱温暖化プロジェクトせら主催の「里山活性化講演会」での講演</p>	<p>平成 30 年 12 月 25 日</p>	<p>広島県・ 世羅町</p>	<p>3 人</p>	<p>講演会参加者</p>	<p>30 人</p>	<p>—</p>

	演題：「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」 講師：当協会理事市橋理事 ■福井市 FMS (Fukui Management Strategy) 例会での講演 演題：「世界および日本のエネルギー事情の実際」 講師：当協会理事市橋理事	平成 31 年 3 月 22 日	福井県・ 福井市	3 人	講演会参 加者	30 人	—
--	--	------------------------	-------------	-----	------------	------	---

(2) その他の事業

(事業費の総費用 【 — 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

平成30年度活動計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収益の部		
1.会費収入		
正会員会費	114,000	
一般会員会費	33,000	
賛助会員会費	60,000	
講演会費	0	
会費収入小計		207,000
2.寄付金収入		
寄付金収入	71,500	
寄付金収入小計		71,500
3.助成金等収入		
助成金等収入	0	
助成金等収入小計		0
4.事業収入		
一般受託収入	0	
事業収入小計		0
5.雑収入		
受取利息	0	
その他収入	1,500	
雑収入計		1,500
6.繰越金		
普通預金		0
経常収入合計		280,000
II 経常費用の部		
1.事業費		
1-1旅費交通費	0	
1-2通信運搬費	0	
1-3諸謝金	0	
1-4消耗品費	0	
1-5賃借料	0	
1-6水道光熱費	0	
1-7広告費	0	
1-8租税公課	0	
1-9展示会費用	0	
1-10委託費	0	
1-11燃料費	0	
1-12借入金返済	0	
1-13会議費	0	
1-14雑費	0	
1-15その他	0	
事業費小計		0
2.管理費		
2-1旅費交通費	27,400	

2-2通信運搬費	25,875		
2-3諸謝金	10,000		
2-4消耗品費	10,277		
2-5賃借料	0		
2-6 水道光熱費	0		
2-7広告費	0		
2-8租税公課	0		
2-9展示会費用	0		
2-10委託費	0		
2-11燃料費	0		
2-12借入金返済	0		
2-13会議費	12,240		
2-14雑費	821		
2-15その他	0		
2-16交際費	32,510		
2-17寄付金	65,000		
管理費小計		184,123	
3.その他	0		
その他	0		
経常支出合計			184,123
経常収支差額			95,877
Ⅲ経常外支出の部			
支払利息	0		
経常外支出合計		0	
当期収支差額			95,877
前期繰越収支差額			277,225
次期繰越収支差額			373,102
(正味財産増減の部)			
Ⅳ正味財産減少の部			
1資産増加額			
当期収支差額		95,877	
増加額合計			95,877
当期正味財産増加額			95,877
前期繰越正味財産			277,225
当期正味財産合計			373,102

書式第15号(法第28条関係)

平成30年度 貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	371,268		
現金	1,834		
未収入金	0		
流動資産合計		373,102	
資産合計			373,102
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		277,225	
当期正味財産増加額		95,877	
正味財産合計			373,102
負債及び正味財産合計			373,102

平成30年度 財産目録

平成 31年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金 A	53,911		
普通預金 B	8,260		
普通預金 C	745		
普通預金 D	308,352	371,268	
手元現金	1,834	1,834	
流動資産合計		373,102	373,102
2 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資 産 合 計			373,102
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			373,102

平成30年度 年間役員名簿

平成30年 4 月 1 日から 平成31年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	佐藤 茂夫		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	富成 研一		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	佐藤 和雄		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	木村 秀文		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	堀内 道夫		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	尾園 次郎		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	奥村 実		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	林原 典生		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	市橋 利夫		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	保坂 英夫		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	小野 裕喜		30年4月1日 ～31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員のうち10人以上の者の名簿

平成31年 3 月 31日現在

特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	佐藤 茂夫	
2	尾園次郎	
3	奥村 実	
4	富成 研一	
5	佐藤 和雄	
6	木村 秀文	
7	堀内 道夫	
8	林原 典生	
9	市橋 利夫	
10	遠藤 幸子	
11	保坂 英夫	

監査報告書

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会
代表理事 尾園 次郎 殿

令和元年 5 月 13 日

監事 小野 裕彦

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会の平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会の平成 31 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上